

# 岩手県民・盛岡市民が知らない 藪川地区の歴史と外山の功績

～塩の道の文化と日本の歴史を動かした物語～



令和 7 年 12 月 2 日（火） 主催：藪川地区公民館 歴史講座

講 師：中村辰司 生年月日：昭和 39 年 1 月 30 日（61 歳）

出 身 地：岩手県盛岡市玉山区藪川外山

略 歴：盛岡工業高校デザイン科、多摩美術大学演劇科を卒業後、デザイン・印刷、マスメディアの業務など多岐にわたる業種で経験を積む。

令和 4 年、地域振興を目的とした「一般社団法人 外山御料牧場・開拓研究会」を設立

## 薮川地区公民館の歴史講座 講演資料

### 岩手県民・盛岡市民が知らない。薮川地区の歴史と外山の功績 ～塩の道の文化と日本の歴史を動かした物語～

#### — 目 次 —

- 日本の歴史を変えた場所の秘密  
歴史の封印解除  
— なぜ外山の功績は消えたのか？  
I. 薮川の二大文明軸  
II. 外山牧場の軌跡（主要年表）
- 近代日本の国防と文化への貢献  
III. 歴史を動かした転換点：  
国家戦略としての馬匹改良  
IV. 外山の功績：盛岡と国防への影響  
V. 薮川が生んだ文化遺産
- 宮沢賢治の「聖地」と未来への継承  
VII. 歴史の陰影：戦後の負の烙印  
VII. 薮川・外山：歴史遺産としての  
三位一体の価値  
VIII. 結論：歴史遺産の再定義と  
未来への誓い
- 結びのメッセージ



#### ●盛岡市薮川地区の地名由来一覧（所説あります）

薮川とは荒れた土地や開墾地を意味する「薮」と「川」の組み合わせた地形に由来

地名	地形・語源の主な説
町村	近世、伝馬役の者が馬を待った場所、すなわち「待村（まちむら）」が変化した。
岩洞	大きな岩場の下や近くにあるほら穴、または湧き水・泉（洞）に由来。
外山	人里に近い、または集落の端にある山を意味する言葉に由来。



## ● 日本の歴史を変えた場所の秘密

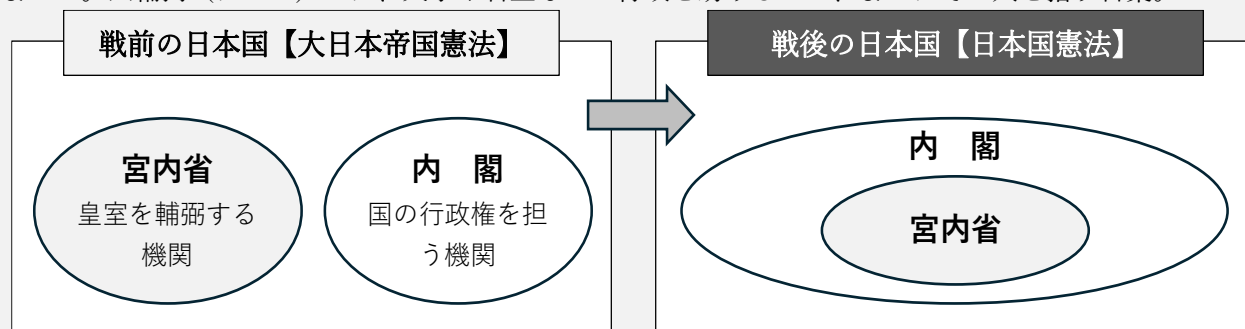
### 歴史の封印解除 — なぜ外山の功績は消えたのか？

盛岡市薮川地区の外山は、近代日本を物理的に支えたにも関わらず、その歴史は長らく地元住民にさえ知られずに「封印」されてきました。

理由① 外山牧場が明治 24 年（1891 年）に宮内省直轄の「外山御料牧場」となったことにあります。御料牧場は天皇と直結し、敷地内の立ち入りは厳禁、地元住民には厳格な「守秘義務」が課されました。②大正 11 年（1922 年）の牧場廃止。最大の理由は③第二次世界大戦後の GHQ による馬事関連情報の焼却・すべての産業廃止。その為、外山の功績と場所は日本史の表舞台から消え去る結果となりました。

#### 理由① 戦前の宮内省について

宮内省は、1885 年に内閣から独立した機関となり、1889 年の憲法発布で皇室の自律が明確化されました。1908 年には制度が整えられ、宮内大臣は、皇室に関する一切の事務について天皇を輔弼する機関とされました。※輔弼（ほひつ）とは、天子や君主などの行政を助けること、またはその人を指す言葉。



これが何を意味するかと言えば、明治 24（1891）外山牧場が「宮内省外山御料牧場」になった時点で、薮川外山地区だけが日本政府・内閣から独立した組織になり外山に関する一切の情報・牧場関連施設・開拓移民である住人・住居・学校等は宮内省主馬寮の管轄となります

## I. 薮川の二大文明軸

薮川地区の歴史的役割は、二つの戦略的な文明軸に集約されます。

1. 薮川・岩洞地区：藩制経済を支えた「塩の道」文化。
2. 外山地区：近代日本を駆動した「馬事産業」。

## II. 外山牧場の軌跡（主要年表）

外山地区の歴史は、日本の国政の転換期と深く連動しています。

年代（年号）	組織名	役割・特記事項
明治 9 年 (1876)	岩手県立外山牧場	県営牧場として開牧。日本の近代化を見据えた第一歩
明治 24 年 (1891)	宮内省 外山御料牧場	天皇直轄の種畜・軍馬供給拠点。日本の威信を背負う「聖域」
大正 11 年 (1922)	岩手県外山種畜場	行政整理により宮内省から県へ移管。歴史が封印される契機となる

## ● 近代日本の国防と文化への貢献

### III. 歴史を動かした転換点：国家戦略としての馬匹改良

明治維新後、岩倉使節団の大久保利通はサンフランシスコで欧米の大型馬に衝撃を受け、日本の馬（南部駒など）のポニーサイズとの格差が国力の差に直結していると認識しました。この危機感が、馬匹改良を国家戦略として推進するトリガーとなりました。

外山は国家の威信をかけた種馬改良の中心地となり、強力な軍馬を供給しました。結果として、在来の南部駒は約 40 年という短期間で姿を消しました。



### IV. 外山の功績：盛岡と国防への影響そして「馬の青紙」

外山馬事産業は、軍事、産業、経済、都市開発の各分野で決定的な役割を果たしました。しかし、その功績の裏側には、戦火が激しさを増す中で人の徴兵の「赤紙」にたいし馬は「青紙」で戦地へ送られた馬たちの悲劇と、戦争がもたらす深い傷跡が存在します。

影響分野	具体的な貢献
軍事・国防	外山で品種改良された軍馬は、「活兵器」として日本の戦地兵站を支えましたが、戦地へ送られた 100 万頭の馬故郷へ戻る事が出来ませんでした。
産業・開墾	広大な岩手県の開墾を促進。土木・建設・運送分野に物理的な駆動力を提供。
経済 都市開発	盛岡市の馬市を賑わせ、岩手銀行や劇場の誕生など都市機能の近代化を牽引。

### V. 菰川が生んだ文化遺産

- **塩の道文化の戦略的中継点**：菰川・岩洞地区は、藩政時代に久慈野田街道として機能した「塩の道」の重要な中継・休息地であり、沿岸の塩と内陸の物資との交易を支えました。
- **開拓者の魂の歌「外山節」**：外山御料牧場での厳しい開拓労働の中で生まれた、岩手を代表する民謡です。守秘義務により外山の歴史が封印される中、外山節は文化の形で唯一その名を継承し続けた文化的遺産となります。

## ● 宮沢賢治の「聖地」と未来への継承

### VI. 賢治と外山：魂の聖地

外山は、詩人・宮沢賢治の創作世界と深く結びついた「聖地」の一つです。

- **文学的証拠**：賢治は友人宛ての手紙「外山の 4 月」で外山への深い愛情を示唆しています。また、外山の風景と精神性を描写した「外山詩群」（5 編）が存在します。

- **理想の実験場**：賢治は、軍事力を支える御料牧場という**国家権力の象徴**の傍らで、親友らと共に「花園農村の理想」の実現を模索しました。外山は、現実の権威主義と理想主義が強烈なコントラストをなす、極めて象徴的な地であったと言えます。



## VII. 歴史の陰影：戦後の負の烙印

GHQ による馬事情報の破棄の結果、外山の輝かしい歴史は完全に消滅し、薮川地区の歴史は戦後から新たに記録されることとなりました。

外山は年間を通じて霜が降りないのがわずか 3 ヶ月という**極めて過酷な寒冷地**であり、行政主導の戦後開拓は気候風土を無視したため冷害で失敗を重ねました。

この失敗と過酷な環境により、薮川地区は長年、「日本のチベット」「陸の孤島」「ほいど（乞食）村」といった**強烈な差別用語**で呼ばれ、「文明も文化も存在しない、産業も出来ない貧しい場所」という**負の烙印**を押されました。

こうした戦後の負の事実が岩手県民・盛岡市民の記憶に深く残ったままです。本講演は、この負の烙印を解消し、地域の誇りを取り戻せればと思って居ります。

## VIII. 結論：歴史遺産の再定義と未来への誓い

薮川地区は、以下の三位一体の歴史的価値を持つ、稀有な場所です。

歴史的価値	主要な役割
経済遺産	藩制時代からの「塩の道」を支えた戦略的中継地。
国家遺産	近代日本の軍事力・産業革命を最前線で支えた馬事産業の功績。
文化遺産	【町村・岩洞】塩の道から生まれた「南部牛追い唄」。薮川神楽。 【外山】御料牧場の草刈唄から生まれた「外山節」。宮沢賢治の「聖地」。を生み出した開拓者の魂の場所 <sup>2</sup> 。

### ●結びのメッセージ

この歴史の封印を解き、外山の真価を再評価することは、地元の先人たちが日本の近代化と文化の創造に果たした、**誇り高き役割の再確認**に繋がります。

また、この歴史の掘り起こしは、寒冷な過酷な環境下で開拓に尽力し、事業を支え続けた牧場関係者や各世代の入植者たちの**長年の功績と魂に深く感謝し、これを称える場**でもあります。

そして何より、牧場の礎となりながら、近代の戦争において「青紙」で徴用され、戦地で命を落とし故郷へ戻れなかった多くの軍馬を含む**すべての牛馬の慰霊・鎮魂**を目的とします。私たちは、戦争がもたらすこの深い悲惨さを、後世に永く伝承していかなければなりません。

**あなたの知る「外山」は、日本の歴史を変えた場所です！**

岩手県民・盛岡市民にぜひ知ってほしい、  
日本の近代化を推し進め、馬事・畜産・農業を牽引し貢献した 3 人

明治天皇・大正天皇

大久保利通(薩摩)



宮内庁主馬頭 藤波 言忠

京都出身華族。明治天皇の側近として宮中に出仕した子爵。主馬頭として欧米視察や御料牧場（下総・新冠・外山）と小岩井農場の充実拡大を推進し、馬匹改良 30 年計画や競馬の実現など馬産界の発展に尽力した。



外山牧場長 一條 牧夫

南部出身。駒場農学校で畜産学を修め、郷里の外山牧場初代場長に就任。岩手県種畜場を設立し、外国種馬を導入して南部馬の改良に努め、岩手を代表する馬産地にした「岩手産馬改良の父」



御料牧場長 新山 莊輔

長州出身。駒場農学校獣医科を卒業後、下総御料牧場初代場長を 34 年間務めた。下総・新冠・外山の御料牧場長と小岩井農場長を兼務し、種畜の改良・育成に尽力。「日本獣医学の生みの親」と呼ばれる。

大日本帝国憲法

馬政局

駒場農学校同級生

岩倉具視・伊藤 博文(長州出身)

小岩井農場（三菱・鉄道）

小野 義真



土佐出身。明治政府の官僚を経て三菱創業者・岩崎彌太郎の知遇を得る。三菱を背景に日本鉄道会社に参画し、副社長から社長となり、日本の鉄道発展を担った。

岩崎 彌之助



土佐出身。三菱創業者・彌太郎の実弟。1885 年に第二代社長に就任。海運から鉱山・金融など事業を多角化し、三菱の発展に貢献。後に第四代日銀総裁も務めた。

井上 勝



長州出身。英国留学で工学を修め、明治政府の鉄道頭・鉄道庁長官に就任。東海道線・東北本線などの鉄道網を整備し日本の鉄道事業の基礎を築いた「鉄道の父」である。

### 【馬政局《馬匹改良(ばひかいりょう)を目的》】

外山御料牧場が中心となり岩手に設置された馬事関連施設

設立年代	施設名 (地名・よみがな)	主な役割
明治 23 年 (1890)頃	<b>馬検場</b> ばけんじょう (盛岡・馬場町周辺)	馬の品質や健康を検査し、売買する馬市の中核として岩手の馬匹流通を支えた。➡盛岡市内で場所を移転。役割は家畜市場に引き継がれました。
明治 29 年 (1896)	<b>種馬所</b> しゅばしよ (滝沢村)	国が優良な外国産種牡馬を導入し、在来馬と交配させることで、 <b>軍馬</b> や <b>農耕馬</b> の品種改良と増殖を行った。➡後に <b>種馬育成所</b> (明治 40 年/1907 年)
明治 31 年 (1898)	<b>種畜場</b> しゅちくじょう (盛岡・下厨川)	岩手県独自の家畜(馬、牛、豚など)の品種改良と増殖技術の向上を目的とした県の畜産振興拠点。(前身は種馬厩) ➡ <b>岩手県畜産試験場</b> (現在)
明治 35 年 (1902)	<b>盛岡高等農林学校</b> (盛岡・上田)	日本初の官立高等農林学校として、東北地方の農業技術革新や冷害克服を担う中堅指導者や軍獣医を育成。➡ <b>岩手大学農学部</b> (昭和 24 年/1949 年)
明治 31 年 (1898)	<b>軍馬補充部</b> ぐんばほじゅうぶ (金ケ崎・六原支部)	広大な牧場を持ち、軍隊で使用する馬(軍馬)を計画的に育成・調教し、全国の部隊へ安定的に供給する役割を担った。➡太平洋戦争終結で解体。
明治 36 年 (1903)	<b>黄金競馬場</b> こがねけいばじょう (盛岡・上田)	競馬を開催し、競走能力の高い優良な馬を選抜することで、地域の馬匹改良を奨励し、娯楽と地域振興に貢献した。➡ <b>盛岡競馬場</b> (現在)
明治 40 年 (1907 年)	<b>種馬育成所</b> しゅばいくせいしよ (滝沢村)	軍馬を確保するための国策を推進し、種馬所の役割を引き継ぎ、より大規模に馬匹の育成と改良を強化した。➡ <b>家畜改良センター岩手牧場</b> (現在)
明治 42 年 (1909)	<b>騎兵第三旅団</b> きへいだいさんりょだん (盛岡・青山)	陸軍の騎兵部隊として盛岡に駐屯し、 <b>軍事拠点</b> としての役割を担い、地域の経済・社会を軍都として発展させた。➡満州へ移駐戦争終結で解体。



## 外山節の誕生秘話

- 情報源は元職員・畑中福太郎氏の日記と聞き取り(深沢氏経由)。時期は明治 24 年頃。
- 誕生に関わったのは外山に住む美人の「きち」「ふゆ」の二人で、歌・踊りに秀で「外山小町」と呼ばれた。毎秋、近郷(藪川・巻堀・好摩・渋民・日戸・釘の平・上米内)から 200～300 人の人夫が集まり草刈りを行う場で、二人が外山節の原型を作った。
- 節の筋は各地の人夫が持ち寄った唄の影響を受け、「萩刈り唄」起源説もその交流に由来するとされる。
- 外山節は御料牧場開拓期の野草の中で生まれた唄。
- 元の節は現在と異なり、歌詞は後に牧場のお役人らが整えた。(八幡町の花街)
- 昭和 7 年に武田忠一郎が採譜、昭和 12 年に太西玉子協力で編曲・発売された。

## 収穫量の推移

明治 25 年は約 15 トンと少量だったが、翌 26 年に人夫増員で 110 トン超へ急増。31 年には 600～700 トン、34 年に 1,000 トン超でピークに達し、その後も同様の方針で増収が続いた。



## I. 外山牧場での仕事

- **馬事**：馬の飼育、調教、品種改良、運搬・騎乗用訓練
- **馬車運用**：荷物・人員輸送、牧場内外の運搬、駅や市街地との連絡輸送
- **畜産**：
  - 牛（肉用・乳用・品種改良・革製品原料）
  - 羊・ヤギ（肉用・羊毛・乳製品）
  - ~~豚（肉用・加工品：ハム・ソーセージ）~~※外山では豚を飼育していなかった
  - 鶏（肉用・卵用）
- **食糧加工**：乳製品（バター・チーズ・粉乳）、肉の燻製や保存食、羊毛の洗浄・紡績
- **農業**：牧草・飼料作物、野菜・穀物の栽培、家畜用耐寒作物の研究
- **林業**：庇陰林・防風林造成、炭や薪、建材の供給、植林と伐採の循環管理
- **建設**：畜舎、衛生室、堆肥舎、サイロ、牧柵、住宅・官舎、農業施設（温室・倉庫）
- **土木**：道路・水路・ため池整備、放牧地の区画整理、排水工事、用水施設建設
- **製造**：
  - 馬具（鞍・鐙・轡）
  - 蹄鉄
  - 農具・牧場器具の修理
  - 馬車の製造・整備（車体、車輪、金具、防水塗装）
- **獣医・衛生**：家畜の疾病予防、診療、衛生管理、伝染病対策
- **教育・研究**：技術者や後継者の育成、農畜産・林業の研究、実習指導
- **事務・経営**：牧場の会計管理、販売・流通、記録保存、行政との調整
- **労務**：牧場の日常作業補助、雑務

## II. 必要な職業

- **馬事関連**：馬方、調教師
- **馬車運用**：御者、荷役担当、運行整備人
- **馬車製造整備**：車大工、木工職人、鍛冶職人、塗装職人、馬具職人
- **畜産**：畜産技術者、牧夫
- **食糧加工**：酪農職人、食肉加工職人、紡績職人
- **農業**：農業技術者、作業員
- **林業**：林業技術者、炭焼き職人、木こり
- **建設**：大工、建築技術者
- **土木**：土木技術者、測量士、作業員
- **製造一般**：鍛冶職人、修理職人
- **獣医衛生**：獣医師、衛生管理者
- **教育研究**：教育者、研究者、技術指導員
- **事務経営**：事務員、会計係、販売流通担当
- **労務**：一般労務者